

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 福岡県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター太宰府病院	2
北九州市	門司病院	3
北九州市	医療センター	4
北九州市	八幡病院	5
福岡市	福岡市立こども病院	6
福岡市	福岡市民病院	7
大牟田市	総合病院	8
飯塚市	飯塚市立病院	9
田川市	市立病院	10
筑後市	市立病院	11
中間市	市立病院	12
芦屋町	芦屋中央病院	13
小竹町	小竹町立病院	14
鞍手町	地方独立行政法人くらて病院	15
糸田町	緑ヶ丘病院	16
川崎町	町立病院	17
公立八女総合病院企業団	公立八女総合病院	18
公立八女総合病院企業団	みどりの杜病院	19

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター太宰府病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,831 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	5	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	80.9	83.8	82.8
感染症	-	-	-	-
計	300	80.9	83.8	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,101,556	
決算規模(千円)	1,616,681,341	
標準財政規模(千円)	931,456,017	
財政力指数	0.65450	
経常収支比率(%)	98.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	263.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,640,221			
1 経常収益	2,551,324			
(1) 医業収益	2,144,316			
入院収益	1,806,023			
外来収益	319,061			
診療収入計	2,125,084			
その他医業収益	19,232			
(うち他会計負担金)	1,174			
(2) 医業外収益	407,008			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	326,155			
(うち長期前受金戻入)	79,630			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	88,897			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,460,461			
2 経常費用	2,448,997			
(1) 医業費用	2,355,294			
職員給与費	10,984	0.5	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	145,724	6.8	9.0	12.7
経費	2,198,458	102.5	23.3	34.6
(うち委託料)	17,246	0.8	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	128			
(2) 医業外費用	93,703			
(うち支払利息)	80,510	3.8	1.4	2.9
(3) 特別損失	11,464			
損益				
経常損益	102,327			
純損益	179,760			
累積欠損金	1,529,536			
経常収支比率	104.2		97.7	98.9
医業収支比率	91.0		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.8		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	90.8		85.7	64.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,683,563
1 固定資産	3,405,647
(1) 有形固定資産	3,404,802
(2) 無形固定資産	845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,277,916
(1) 現金及び預金	608,182
(2) 未収金及び未収収益	711,344
(3) 貸倒引当金()	42,610
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,097,563
1 固定負債	3,424,873
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,404,641
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	20,232
(7) リース債務	-
2 流動負債	368,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	361,790
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,365
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,907
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	303,741
(1) 長期前受金	2,050,481
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,746,740
資本合計	586,000
1 資本金	1,198,746
2 剰余金	-612,746
(1) 資本金剰余金	916,790
(2) 利益剰余金	-1,529,536
負債・資本合計	4,683,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収益(千円)	2,143,142

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,329	327,329
資本勘定繰入	230,237	230,237
計	557,566	557,566

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	北九州市
	病院名	門司病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,196 m ²	指定病院の状況	
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	96.8	91.6	84.1
療養	50	98.1	95.1	93.1
結核	55	35.0	42.5	55.9
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	75.3	75.3	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		27.2	27.2	24.0

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	550,110,942	
標準財政規模(千円)	279,340,536	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	170.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	287,165			
1 経常収益	287,165			
(1) 医業収益	7,366			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	7,366			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	279,799			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	256,778			
(うち長期前受金戻入)	2,606			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	426,784			
2 経常費用	426,784			
(1) 医業費用	375,907			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	174,571	2370.0	9.0	10.2
経費	201,336	2733.3	23.3	30.5
(うち委託料)	15,891	215.7	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	50,877			
(うち支払利息)	50,847	690.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-139,619			
純損益	-139,619			
累積欠損金	11,525,773			
経常収支比率	67.3		97.7	96.5
医業収支比率	2.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	89.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	3486.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	89.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	7.1		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,777,327
1 固定資産	2,710,598
(1) 有形固定資産	2,706,619
(2) 無形固定資産	557
(3) 投資その他の資産	3,422
2 流動資産	66,729
(1) 現金及び預金	47,080
(2) 未収金及び未収収益	19,649
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,078,587
1 固定負債	3,699,072
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,699,072
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	334,707
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	308,629
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	16,190
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	44,808
(1) 長期前受金	258,765
(2) 長期前受金収益化累計額()	213,957
資本合計	-1,301,260
1 資本金	10,144,780
2 剰余金	-11,446,040
(1) 資本剰余金	79,733
(2) 利益剰余金	-11,525,773
負債・資本合計	2,777,327
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,301,260
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,256,452

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.0
修正医業収益(千円)	7,366

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,898	256,778
資本勘定繰入	203,364	305,046
計	427,262	561,824

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156472.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	北九州市
		病院名	医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	69.7	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	0.1
計	-	-	67.9	69.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	14.2	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	550,110,942	
標準財政規模(千円)	279,340,536	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	170.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	70,746			
1 経常収益	70,746			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	70,746			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	70,746			
2 経常費用	70,746			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	70,746			
(うち支払利息)	70,746	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156472.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	北九州市
		病院名	八幡病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	68.1	52.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	68.1	52.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	10.3	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	961,286	
決算規模(千円)	550,110,942	
標準財政規模(千円)	279,340,536	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	170.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	81,371			
1 経常収益	81,371			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	81,371			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	81,371			
2 経常費用	81,371			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	81,371			
(うち支払利息)	81,371	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156472.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	福岡市
	病院名	福岡市立こども病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	868,661,373	
標準財政規模(千円)	421,511,166	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	112.3

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	71,627			
1 経常収益	71,627			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	71,627			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	71,627			
2 経常費用	71,627			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	71,627			
(うち支払利息)	71,627	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	福岡市
	病院名	福岡市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,538,681	
決算規模(千円)	868,661,373	
標準財政規模(千円)	421,511,166	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	112.3

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,051			
1 経常収益	11,051			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,051			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,051			
2 経常費用	11,051			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	11,051			
(うち支払利息)	11,051	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	大牟田市
		病院名	総合病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	117,360	
決算規模(千円)	54,242,966	
標準財政規模(千円)	27,535,926	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	37.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	134,152			
1 経常収益	134,152			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	134,152			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	134,152			
2 経常費用	134,152			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	134,152			
(うち支払利息)	134,152	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	飯塚市
	病院名	飯塚市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,311 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	250	70.7	74.1	77.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	70.7	74.1	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	22.3	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	129,146	
決算規模(千円)	69,457,674	
標準財政規模(千円)	32,543,646	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	17.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	435,385			
1 経常収益	435,385			
(1) 医業収益	225,491			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	225,491			
(うち他会計負担金)	225,491			
(2) 医業外収益	209,894			
(うち国・都道府県補助金)	8,019			
(うち他会計補助・負担金)	20,775			
(うち長期前受金戻入)	144,836			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	551,094			
2 経常費用	551,094			
(1) 医業費用	487,860			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	262,369	116.4	9.0	9.9
経費	225,491	100.0	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	63,234			
(うち支払利息)	29,993	13.3	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-115,709			
純損益	-115,709			
累積欠損金	840,749			
経常収支比率	79.0		97.7	96.3
医業収支比率	46.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	56.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	109.2		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	56.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	34.3		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,956,120
1 固定資産	3,938,170
(1) 有形固定資産	3,937,920
(2) 無形固定資産	250
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	17,950
(1) 現金及び預金	6,037
(2) 未収金及び未収収益	11,913
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,348,400
1 固定負債	3,110,525
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,110,525
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	154,616
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	141,992
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	848
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,776
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,259
(1) 長期前受金	717,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	634,453
資本合計	607,720
1 資本金	1,300,608
2 剰余金	-692,888
(1) 資本金剰余金	147,861
(2) 利益剰余金	-840,749
負債・資本合計	3,956,120
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	232,213	246,266
資本勘定繰入	35,002	36,051
計	267,215	282,317

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	372.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	田川市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,810 m ²	指定病院の状況	救 臨 感 災 輪		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	334	54.8	57.3	62.7
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	8	-	-	-
計	342	53.5	56.0	61.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.8	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	48,441	
決算規模(千円)	29,744,237	
標準財政規模(千円)	12,975,051	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	101.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	5,861,350			
1 経 常 収 益	5,620,333			
(1) 医 業 収 益	5,065,398			
入 院 収 益	3,208,453			
外 来 収 益	1,630,307			
診 療 収 入 計	4,838,760			
そ の 他 医 業 収 益	226,638			
(うち他会計負担金)	110,734			
(2) 医 業 外 収 益	554,935			
(うち国・都道府県補助金)	11,578			
(うち他会計補助・負担金)	328,304			
(うち長期前受金戻入)	183,163			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	241,017			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	5,687,713			
2 経 常 費 用	5,611,789			
(1) 医 業 費 用	5,340,700			
職 員 給 与 費	2,857,981	56.4	55.7	57.0
材 料 費	977,793	19.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	462,137	9.1	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	515,656	10.2	11.0	11.3
減 価 償 却 費	271,390	5.4	9.0	9.3
経 理 費	1,200,274	23.7	23.3	22.1
(うち委託料)	636,389	12.6	11.5	11.1
研 究 研 修 費	21,661			
資 産 減 耗 費	11,601			
(2) 医 業 外 費 用	271,089			
(うち支払利息)	82,360	1.6	1.4	1.4
(3) 特 別 損 失	75,924			
損 益				
経 常 損 益	8,544			
純 損 益	173,637			
累 積 欠 損 金	739,731			
経 常 収 支 比 率	100.2		97.7	96.4
医 業 収 支 比 率	94.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	92.3		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	6,659,178
1 固 定 資 産	5,258,860
(1) 有 形 固 定 資 産	5,258,860
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	1,400,318
(1) 現 金 及 び 預 金	588,123
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	789,520
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	8,187
(4) 貯 蔵 品	29,792
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	7,132,541
1 固 定 負 債	5,780,849
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,709,637
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,071,212
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	1,291,300
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	664,122
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	192,384
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	415,616
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	60,392
(1) 長 期 前 受 金	6,849,123
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	6,788,731
資 本 合 計	-473,363
1 資 本 金	248,911
2 剰 余 金	-722,274
(1) 資 本 剰 余 金	17,457
(2) 利 益 剰 余 金	-739,731
負 債 ・ 資 本 合 計	6,659,178
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	473,363
資本不足額(繰延収益控除後) ()	412,971
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.8
修正医業収益(千円)	4,954,664

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	439,038	439,038
資本勘定繰入	404,554	404,554
計	843,592	843,592

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	筑後市
		病院名	市立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	48,339	
決算規模（千円）	20,074,626	
標準財政規模（千円）	10,488,293	
財政力指数	0.67	
経常収支比率（%）	93.6	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.6
	将来負担比率（%）	34.5

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	50,205			
1 経常収益	50,205			
（1）医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	50,205			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	50,205			
2 経常費用	50,205			
（1）医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
（うち薬品費）	-	-	13.3	9.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
（うち委託料）	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
（2）医業外費用	50,205			
（うち支払利息）	50,205	-	1.4	1.5
（3）特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（ ）	-
（4）貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
2 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
（1）資本金剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福岡県
				市町村・組合名	中間市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,302 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	122	42.2	44.2	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	42.2	44.2	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	20.2	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	41,796	
決算規模(千円)	17,839,280	
標準財政規模(千円)	9,450,782	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	54.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,854,576			
1 経常収益	1,854,536			
(1) 医業収益	1,689,839			
入院収益	629,314			
外来収益	965,203			
診療収入計	1,594,517			
その他医業収益	95,322			
(うち他会計負担金)	48,659			
(2) 医業外収益	164,697			
(うち国・都道府県補助金)	11,328			
(うち他会計補助・負担金)	95,409			
(うち長期前受金戻入)	50,406			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,993,827			
2 経常費用	1,989,979			
(1) 医業費用	1,913,731			
職員給与費	1,015,656	60.1	55.7	61.3
材料費	510,078	30.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	436,237	25.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,007	3.6	11.0	8.2
減価償却費	72,138	4.3	9.0	10.2
経費	312,915	18.5	23.3	30.5
(うち委託料)	133,473	7.9	11.5	13.0
研究研修費	2,944			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	76,248			
(うち支払利息)	10,383	0.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	3,848			
損益				
経常損益	-135,443			
純損益	-139,251			
累積欠損金	578,488			
経常収支比率	93.2		97.7	96.5
医業収支比率	88.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.0		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	861,556
1 固定資産	564,225
(1) 有形固定資産	563,534
(2) 無形固定資産	691
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	297,331
(1) 現金及び預金	1,607
(2) 未収金及び未収収益	282,586
(3) 貸倒引当金()	1,140
(4) 貯蔵品	13,678
3 繰延資産	-
負債合計	1,261,161
1 固定負債	404,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	393,173
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,555
(7) リース債務	-
2 流動負債	667,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	94,451
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,473
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	385,087
(8) 未払金及び未払費用	124,575
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	189,239
(1) 長期前受金	1,689,782
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,500,543
資本合計	-399,605
1 資本金	94,571
2 剰余金	-494,176
(1) 資本金剰余金	82,812
(2) 利益剰余金	-576,988
負債・資本合計	861,556
不良債務	275,412
実質資金不足額	275,412
資金不足額()	399,605
資本不足額(繰延収益控除後)()	210,366
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.8
修正医業収益(千円)	1,641,180

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	144,068	144,068
資本勘定繰入	38,187	38,187
計	182,255	182,255

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	275,412	16.3
平成30年度	133,156	7.9
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.2
健全化法上の資金不足額(千円)	275,412
健全化法上の資金不足比率(%)	16.2
地財法上の資金不足額(千円)	275,412
地財法上の資金不足比率(%)	16.2

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	芦屋町
		病院名	芦屋中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	14,208	
決算規模(千円)	8,721,869	
標準財政規模(千円)	3,832,302	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,738			
1 経常収益	3,738			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,738			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,738			
2 経常費用	3,738			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,738			
(うち支払利息)	3,738	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	小竹町
		病院名	小竹町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,759 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	13:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	56	49.4	60.8	64.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	49.4	60.8	64.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	18.8	24.5

設立団体の状況		
人口(人)	7,810	
決算規模(千円)	5,540,703	
標準財政規模(千円)	2,670,100	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	105.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	492,923			
1 経常収益	491,715			
(1) 医業収益	443,638			
入院収益	247,873			
外来収益	113,197			
診療収入計	361,070			
その他医業収益	82,568			
(うち他会計負担金)	61,894			
(2) 医業外収益	48,077			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	35,116			
(うち長期前受金戻入)	11,586			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,208			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	526,556			
2 経常費用	519,272			
(1) 医業費用	509,294			
職員給与費	392,882	88.6	55.7	72.6
材料費	35,125	7.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	9,544	2.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,986	4.3	11.0	5.6
減価償却費	20,842	4.7	9.0	11.1
経費	59,694	13.5	23.3	31.9
(うち委託料)	28,945	6.5	11.5	13.0
研究研修費	641			
資産減耗費	110			
(2) 医業外費用	9,978			
(うち支払利息)	1,575	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	7,284			
損益				
経常損益	-27,557			
純損益	-33,633			
累積欠損金	233,873			
経常収支比率	94.7		97.7	97.4
医業収支比率	87.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	19.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	76.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	523,773
1 固定資産	264,571
(1) 有形固定資産	264,420
(2) 無形固定資産	151
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	259,202
(1) 現金及び預金	183,617
(2) 未収金及び未収収益	73,433
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,843
3 繰延資産	-
負債合計	701,099
1 固定負債	219,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	885
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	100,000
(6) 引当金	119,028
(7) リース債務	-
2 流動負債	341,684
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,607
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	11,395
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	27,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	139,502
(1) 長期前受金	297,313
(2) 長期前受金収益化累計額()	157,811
資本合計	-177,326
1 資本金	53,633
2 剰余金	-230,959
(1) 資本金剰余金	2,914
(2) 利益剰余金	-233,873
負債・資本合計	523,773
不良債務	79,875
実質資金不足額	79,875
資金不足額()	177,326
資本不足額(繰延収益控除後)()	37,824
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.0
修正医業収益(千円)	381,744

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	103,834	97,010
資本勘定繰入	1,527	2,990
計	105,361	100,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	79,875	18.0
平成30年度	148,212	30.3
平成29年度	162,210	33.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.7
健全化法上の資金不足額(千円)	79,875
健全化法上の資金不足比率(%)	18.0
地財法上の資金不足額(千円)	79,875
地財法上の資金不足比率(%)	18.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	鞍手町
		病院名	地方独立行政法人くらて病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,007	
決算規模(千円)	7,752,629	
標準財政規模(千円)	4,605,074	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,080			
1 経常収益	8,080			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	8,080			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,080			
2 経常費用	8,080			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,080			
(うち支払利息)	8,080	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	糸田町
		病院名	緑ヶ丘病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,798 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	54	65.3	71.3	71.1
療養	45	56.4	68.3	66.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	61.3	69.9	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	24.3	26.8

設立団体の状況		
人口(人)	9,020	
決算規模(千円)	5,687,502	
標準財政規模(千円)	2,721,954	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	735,222			
1 経常収益	735,222			
(1) 医業収益	623,631			
入院収益	396,251			
外来収益	148,729			
診療収入計	544,980			
その他医業収益	78,651			
(うち他会計負担金)	56,381			
(2) 医業外収益	111,591			
(うち国・都道府県補助金)	3,804			
(うち他会計補助・負担金)	93,619			
(うち長期前受金戻入)	5,841			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	752,624			
2 経常費用	752,624			
(1) 医業費用	751,342			
職員給与費	542,153	86.9	55.7	72.6
材料費	85,062	13.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	44,581	7.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,447	4.6	11.0	5.6
減価償却費	16,222	2.6	9.0	11.1
経費	106,934	17.1	23.3	31.9
(うち委託料)	34,923	5.6	11.5	13.0
研究研修費	804			
資産減耗費	167			
(2) 医業外費用	1,282			
(うち支払利息)	206	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-17,402			
純損益	-17,402			
累積欠損金	390,168			
経常収支比率	97.7		97.7	97.4
医業収支比率	83.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	20.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	77.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	528,245
1 固定資産	218,986
(1) 有形固定資産	218,403
(2) 無形固定資産	583
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	309,259
(1) 現金及び預金	25,880
(2) 未収金及び未収収益	277,837
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,542
3 繰延資産	-
負債合計	608,279
1 固定負債	202,351
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,747
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	175,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	16,604
2 流動負債	333,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,066
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	25,000
(5) 引当金	28,506
(6) リース債務	5,206
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	23,094
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	72,056
(1) 長期前受金	236,157
(2) 長期前受金収益化累計額()	164,101
資本合計	-80,034
1 資本金	-
2 剰余金	-80,034
(1) 資本金剰余金	310,134
(2) 利益剰余金	-390,168
負債・資本合計	528,245
不良債務	22,547
実質資金不足額	22,547
資金不足額()	80,034
資本不足額(繰延収益控除後)()	7,978
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.5
修正医業収益(千円)	567,250

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,000	150,000
資本勘定繰入	3,191	3,191
計	153,191	153,191

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	22,547	3.6
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.6
健全化法上の資金不足額(千円)	19,843
健全化法上の資金不足比率(%)	3.1
地財法上の資金不足額(千円)	22,547
地財法上の資金不足比率(%)	3.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県
		市町村・組合名	川崎町
		病院名	町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	16,789	
決算規模(千円)	12,401,459	
標準財政規模(千円)	4,873,252	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	74.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,391			
1 経常収益	16,391			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	16,391			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,391			
2 経常費用	16,391			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,391			
(うち支払利息)	16,391	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	福岡県
	市町村・組合名	公立八女総合病院企業団
	病院名	公立八女総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,147 m ²	指定病院の状況	救臨が地輪
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	90.3	91.1	88.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	90.3	91.1	88.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	15.4	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.8
修正医業収益(千円)	7,165,347

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,035,669			
1 経常収益	8,035,669			
(1) 医業収益	7,228,793			
入院収益	4,717,042			
外来収益	2,348,407			
診療収入計	7,065,449			
その他医業収益	163,344			
(うち他会計負担金)	63,446			
(2) 医業外収益	806,876			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	285,287			
(うち長期前受金戻入)	6,906			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,487,828			
2 経常費用	8,463,683			
(1) 医業費用	7,641,896			
職員給与費	3,954,233	54.7	55.7	57.0
材料費	1,759,121	24.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,023,682	14.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	661,575	9.2	11.0	11.3
減価償却費	465,033	6.4	9.0	9.3
経費	1,441,936	19.9	23.3	22.1
(うち委託料)	841,086	11.6	11.5	11.1
研究研修費	13,872			
資産減耗費	7,701			
(2) 医業外費用	821,787			
(うち支払利息)	73,216	1.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	24,145			
損益				
経常損益	-428,014			
純損益	-452,159			
累積欠損金	208,525			
経常収支比率	94.9		97.7	96.4
医業収支比率	94.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	4.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	90.8		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,640,213
1 固定資産	7,903,636
(1) 有形固定資産	7,903,636
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,736,577
(1) 現金及び預金	4,386,442
(2) 未収金及び未収収益	1,106,419
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	139,070
3 繰延資産	-
負債合計	5,825,756
1 固定負債	4,129,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,688,438
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,433,960
(7) リース債務	7,204
2 流動負債	1,436,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	629,295
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	152,865
(6) リース債務	2,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	522,855
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	259,431
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	249,124
資本合計	7,814,457
1 資本金	7,527,861
2 剰余金	286,596
(1) 資本金剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-88,291
負債・資本合計	13,640,213
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,800	348,733
資本勘定繰入	355,824	344,657
計	675,624	693,390

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福岡県	
		市町村・組合名	公立八女総合病院企業団	
		病院名	みどりの杜病院	
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	2,418 m ²	指定病院の状況		
診療科数	1	看護配置	7:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	82.7	87.5	84.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	82.7	87.5	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		40.1	40.9	45.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.3
修正医業収益(千円)	434,188

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	447,041			
1 経常収益	447,041			
(1) 医業収益	434,188			
入院収益	394,907			
外来収益	30,673			
診療収入計	425,580			
その他医業収益	8,608			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,853			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	7,079			
(うち長期前受金戻入)	3,138			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	463,465			
2 経常費用	463,465			
(1) 医業費用	455,443			
職員給与費	326,349	75.2	55.7	80.8
材料費	28,400	6.5	24.7	13.8
(うち薬品費)	11,650	2.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,422	1.9	11.0	4.9
減価償却費	23,580	5.4	9.0	12.9
経費	75,945	17.5	23.3	47.4
(うち委託料)	34,087	7.9	11.5	20.7
研究研修費	1,169			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	8,022			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-16,424			
純損益	-16,424			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.5		97.7	96.7
医業収支比率	95.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	1.6		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	1.6		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	1.6		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	94.9		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,640,213
1 固定資産	7,903,636
(1) 有形固定資産	7,903,636
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,736,577
(1) 現金及び預金	4,386,442
(2) 未収金及び未収収益	1,106,419
(3) 貸倒引当金()	1,145
(4) 貯蔵品	139,070
3 繰延資産	-
負債合計	5,825,756
1 固定負債	4,129,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,688,438
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,433,960
(7) リース債務	7,204
2 流動負債	1,436,723
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	629,295
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	152,865
(6) リース債務	2,228
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	522,855
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	259,431
(1) 長期前受金	508,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	249,124
資本合計	7,814,457
1 資本金	7,527,861
2 剰余金	286,596
(1) 資本剰余金	374,887
(2) 利益剰余金	-88,291
負債・資本合計	13,640,213
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,557	7,079
資本勘定繰入	-	-
計	7,557	7,079

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。